

富山県立入善高等学校に自転車用ヘルメットを寄贈 ～富山県警と連携した取組み～

日本損害保険協会富山損保会（会長：河合 正樹・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 富山支店長）では、富山県警が県内初の「モデル校」に指定した富山県立入善高等学校に自転車用ヘルメット30個を寄贈することとし、9月11日（月）に同校で寄贈式が行われました。

寄贈式では、県警宮島交通部長からの挨拶の後、坂本入善警察署長から「自転車ヘルメット着用推進モデル校指定書」が交付され、同校川原校長から謝辞がありました。

次いで、河合会長を含む賛同団体から生徒代表に合計100個のヘルメットが寄贈されました。

富山県内では今年度、自転車が絡む交通事故の死傷者数が109人となっていますが、うちヘルメットを着用していた方の割合は15.6%と着用義務化後も低迷しています。

当支部では引き続き、関係各所と連携し、県内の交通安全啓発に取り組んでまいります。



河合会長（中央）からヘルメットを寄贈



出席者全員で記念撮影